BRIESE OCUS DAS SYSTEM

Um den gewünschten Lichtcharakter bei einer Aufnahme zu erreichen, ist die Geometrie und der Durchmesser der Reflektoren ausschlaggebender Faktor für die Auswahl der Lichtquellen.

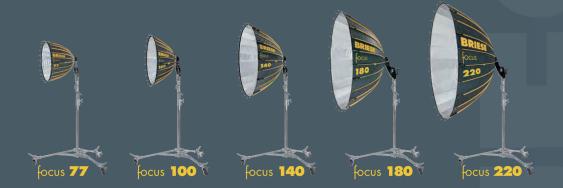
Das **BRIESE** focus System ist modular aufgebaut. Durch Kombination und Ergänzung einzelner Komponenten dieses Baukasten-Systems ist jeder Lichtcharakter realisierbar.

Zubehör wie Diffusoren, Masken, Folien- und Glas-Farbfilter (dichroitisch) schaffen neue Möglichkeiten und erweitern das Spektrum der Kreativität.

In order to achieve the desired lighting characteristics, the geometry and diameter of the reflectors are decisive factors when selecting the light source

The **BRIESE** focus system is modular in design. By combining and adding individual components, this modular system can achieve any lighting characteristics.

Accessories such as diffusers, masks, colored gels and colored glas: (dichroic) filters offer new possibilities and unsurpassed creativity.



Die **BRIESE** focus Reflektoren sind in sieben Durchmessern von 44 bis 330 cm lieferbar und ausrüstbar mit:

RHTZHCHT

TAGESLICHT

HEISSLICHT

The **BRIESE** focus reflectors are available in seven diameters ranging from 44 to 330 cm and usable with:

FLASHLIGHT

DAYLIGHT

HOTLIGHT

BRIESE LIGHT 取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください



JAPAN ARC-SYSTEM

目 次

◆ 注意事項	P3
◆ HMI ランプヘッドのセット内容 E-focus セット内容 ——	P4
◆ BRIESE 組立方法(手動編) —————	P5
◆ BRIESE 組立方法(E-focus 編)————	P14
◆ リモコンの操作方法	P23
◆ E-focus の AC コードの使用方法 ———	P25
◆ ディフューザーの取り付け方法	P27
◆ エッグクレートの取り付け方法 ————	P29
◆ リフレクターの閉じ方(77・100・140) ——	P31
◆ リフレクターの閉じ方(180・220) ———	P32

注意事項

- ★ BRIESE LIGHT は繊細で壊れやすい機材です。
- ★ 必ずアースを接続してください。 (アースを接続しないと故障の原因となります。)
- ★ BRIESE LIGHT は使用環境温度に敏感なライトです。 ランプソケットに温度センサーが付いているため、 熱がこもっている場所では安全の為に消灯する場合があります。
- ★ ライトの振り角度は 上 60°下 60°までと致します。
- ★ 1.2kw ランプでの使用については、バラストとライト コードの間に必ず変換コードを取り付けてください。
- ★ 部品が多数ありますので、紛失に注意してください。
- ★ 延長ケーブルは 25mまで延ばして使用できます。 灯体=5m、延長=10m(1本) なので、延長ケーブルは 2本つなぎまで可能です。それ以上はつながない(延ばさない)ようにしてください。

各サイズで使用できるワット数は下記の通りです。						
Focus 220	4kw、	2.5kw、	1.2kw、	575w		
Focus 180	4kw、	2.5kw、	1.2kw、	575w		
Focus 140	4kw、	2.5kw、	1.2kw、	575w		
Focus 100	2.5kw、	1.2kw、	575w			
Focus 77	1.2kw、	575w				

取扱には十分ご注意ください。

HMI ランプヘッド セット内容

HMI ランプヘッド	延長ケーブル 1 OM×1	1.2kw 変換ケーブル	4kw/2. 5kw ランプ	てぶくろ
BRIESE				



E-focus セット内容



BRIESE 組立方法 (手動編)

BRIESE の組立(手動編)

1 スタンドにスタンドマウントを設置する。

220用(ダボ29Φ)のスタンドマウント設置方法

220 用の場合はスタンドマウントを開き、固定用ピン(大)をスタンドマウントに挿し、反対側に出たピンの穴にピン(小)を挿し、スタンドマウントを固定する。











180/140/100/77用(ダボ 25Φ)のスタンドマウント設置





黒いつまみを緩めて、 レバ一部分を操作しや すい位置にする

黒いつまみを回して レバーを固定させる。



2 リフレクタを開いてセットアップヘルパーとガイドがある事を

確認してください。



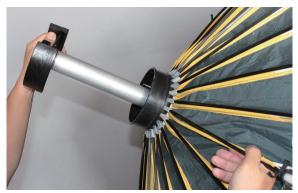
3 リフレクタを壁に押し付けて、開きます。





※芯があまりにも曲がるような押し方は避けてください。 押し当てる時は、骨を折らないようにご注意ください。

4 セットアップヘルパーを外します。



5 スタンドマウントにリフレクタを差し込み、ロック(赤いレバー)をかける。

※レバーをロック後にリフレクタが回転する事を確認してください。リフレクタが回転しない場合は正常にロックができてません。

スペーサーを止めるストッパーのリングを少し緩めてから手動用アダプ ターを取り付ける。





アダプターの へコミ の部分とリフレクタの ピン の位置が合うよう に差し込み。アダプタの 3 箇所のネジを締めてください。

6 リフレクタからガイドを外す。



7 ランプヘッドとスペーサーを接続する。温度センサーの端子 が合うように正しい向きで差し込んでください。









しっかりと差し込み



リングを回して締めます。



この位置までしっかりと差し込まれている事を確認してください。

8 ストッパーに不安がある場合はスペーサーにリングをはめる。



※下振りの場合はリフレクタの外側に取り付けて、上振りの場合はリフレクタの内側に取り付けてください。



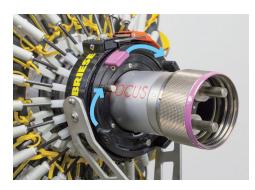
差し込んだらネジを 回してロックする。

9 スタンドマウントの背面からスペーサーを水平に挿入する。





10 図のように手動アダプターの部分を時計回しでロックする。



11 ランプを取り付ける 4kw球の場合

※2.5 k w/1.2 k wは 11P

11 - ①スペーサーにアダプターを取り付ける。

※シェルアダプターはパイレックスシェルに取り付けた状態で収納されていますので、まずパイレックスシェルから取り外してからお使いください。



固定用のネジを緩める



オレンジ色の線の位置を合わせて奥まで差し込む。

11 - ②手袋をする



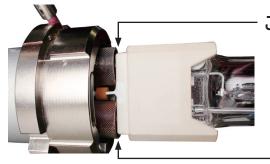


奥まで差し込んだらネジを締めて固定する

11 - ③ ランプの根本(ベース)を持ってしっかりとランプを差し込む

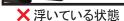
※ランプ内の針金 が下に来るような向きで差し込む。ランプのガラス部分を素手で持ったりしないでください。ガラスの部分を持って差し込むと根本からランプが折れる可能性があります。

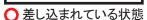




ここまで差し込む







11 - ④ パイレックスシェルを取り付ける。

両方のオレンジの線が合うようにパイレックスシェルを差し込み、軽く押しながら、右に回して「カチッ」と音がするまで回して固定する。





※防爆ネットとガラスの止め方が石膏で止まっているだけなので、防爆ネットの部分を握って回してしまうと、石膏がはがれ、防爆ネットが落下します。 絶対に持たないでください

11-5 パイレックスシェルの先端にカウンターリフレクタを取り付ける。

12-(1) ランプの根本(ベース)を持ってしっかりとランプを差し込む

※ランプ内の針金 が下に来るような向きで差し込む。ランプのガラス部分を素手で持ったりしないでください。ガラスの部分を持って差し込むと根本からランプが折れる可能性があります。



12-② スペーサーに直接パイレックスシェルを差し込み、パイレックスシェルに付属の固定用金具をはめて固定します。



固定用金具はパイレックスシェルについています。



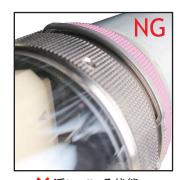


※防爆ネットとガラスの止め方が石膏で止まっているだけなので、防爆ネットの部分を握って回してしまうと、石膏がはがれ、防爆ネットが落下します。 絶対に持たないでください。

12-③ 固定用金具がしっかり入ってるか確認



○ 差し込まれている状態



★ 浮いている状態

12-4 パイレックスシェルの先端にカウンターリフレクタを取り付ける。



13 ケーブルのピンの位置を確認してから、ランプヘッドのケーブルと延長ケーブルを接続する。

※ぐりぐり回しながらケーブルを差し込むと、ピン折れや点灯不良の原因となります。







※ケーブルは必ずしっかり差し込んでロックしてください。

※アース部分のピンと、差し込む穴の位置を必ず確認してください。

ライトコードはアース部分のピンが特に長く非常に折れやすいので、灯体とバラストを接続する際は十分で注意ください。 無理に接続すると、接続した側のコードの破損にもつながります。

また、バラストのヒューズが切れてしまいご利用いただけなくなります。



14 バラストにケーブルを接続する。

1.2kw 球を使用する時は延長コードとバラストの間に専用変換コードを接続してください。





- ※ケーブルは必ずしっかり差し込んでロックしてください。
- ※延長ケーブルとバラストも13と同じようにピンを折らないよう接続してください。
- 15 バラストの電源を接続する。







16 バラストの電源スイッチを ON にして、パワーランプとセーフティーランプが点灯している事を確認する。

※セーフティーランプが消えている場合は点灯できません。 パワーランプが点灯していないと電源がきていません。

組み方、接続が正しくできていない可能性があります。





17 調光ダイヤルを MAX にする。

18 モードダイヤルをフリッカー フリー に切り替える。





19 LAMP スイッチを ON にして。点灯を確認する。





BRIESE組立方法 (E-focus 編)

BRIESE の設置 (E-focus 編)

◆ 29Φのスタンドに E-focus を設置する。



- ◆スタンドマウントの前面の ロック(赤いレバー)を解除 する。
- ◆ リフレクタを開いてセット アップヘルパーとガイドが ある事を確認してください。





- リフレクタを壁に押し付けて、開きます。※芯と芯があまりにも曲がるような押し方は避けてください。



押し当てる時は、骨を折らないように **15** ご注意ください



セットアップへルパーを外します。



手動用アダプターは E-focus には使用できません。 ★取り付けないでください



E-focus 用



★ 手動用アダプター

ᢙ E-focus にリフレクタを差し込み、ロック(赤いレバー)をか ける。



※レバーをロック後にリフレクタが回転する事を確認してください。 リフレクタが回転しない場合は正常にロックができてません。



🍞 リフレクタからガイドを外す。



◆ ランプヘッドとスペーサーを接続する。温度センサーなどの端子が合うように正しい向きで差し込んでください。

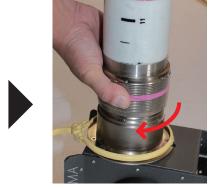




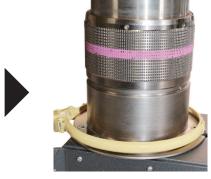




しっかりと差し込み

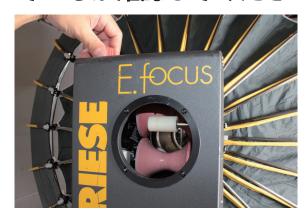


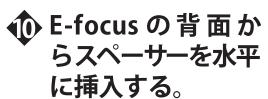
リングを回して締めます。

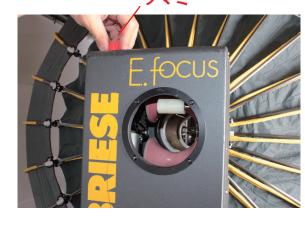


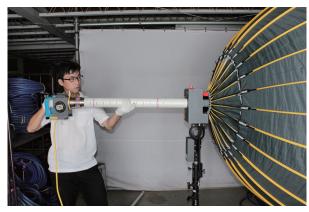
この位置までしっかりと差し込まれている事を確認してください。

E-focus上部のツマミを左に回して E-focus 内部の固定が緩んでいるか確認してください。







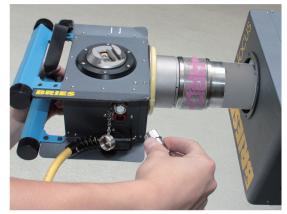


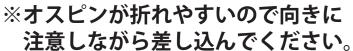
● E-focusの上部のツマミを右回しで締め、スペーサーを固定する。

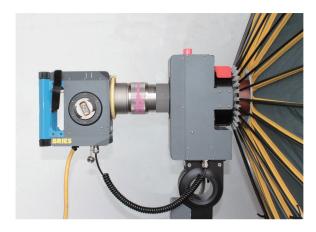


※必ずスペーサーのグレーの部分が少し 見える状態で固定してください。

E-focus から出ているケーブルをランプヘッド下面のコネクタに接続する。







な スペーサーにスイッチングリングをはめる。



※E-focus 使用の場合はスイッチングリングをはめる事で、シボリを MAX にした時に自動で止まります。

◆ (1) スペーサーにアダプターを取り付ける。

シェルアダプターはパイレックスシェルに取り付けた状態で収納されていますので、 まずパイレックスシェルから取り外してからお使いください。



固定用のネジを緩める



オレンジ色の線の位置を合わせて 奥まで差し込む。

◆-②手袋をする



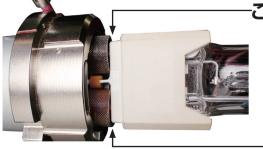


奥まで差し込んだらネジで固定する

◆-3 ランプの根本(ベース)を持ってしっかりとランプを差し込む

※ランプ内の針金 が下に来るような向きで差し込む。ランプのガラス部分を素手で持ったりしないでください。 ガラスの部分を持って差し込むと根本からランプが折れる可能性があります。





ここまで差し込む



○差し込まれている状

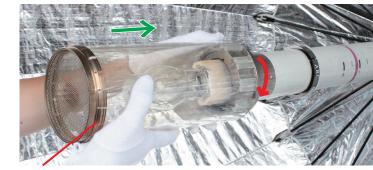


※ 浮いている状

◆-4 パイレックスシェルを取り付ける。

両方のオレンジの線が合うようにパイレックスシェルを差し込み、軽く押しながら、右に回して「カチッ」と音がするまで回して固定する。





※防爆ネットとガラスの止め方が石膏で止まっているだけなので、防爆ネットの部分を握って回してしまうと、石膏がはがれ、防爆ネットが落下します。絶対に持たないでください

◆
・
⑤
パイレックスシェルの先端に
カウンターリフレクタを取り
付ける。



15 ランプを取り付ける 2.5/1.2 kw球の場合

※4kwは19P

◆・1 ランプの根本(ベース)を持ってしっかりとランプを差し込む

※ランプ内の針金 が下に来るような向きで差し込む。ランプのガラス部分を素手で持ったりしないでください。

ガラスの部分を持って差し込むと根本からランプが折れる可能性があります。



なつからできる。 スペーサーに直接パイレックスシェルを差し込み、パイレックスシェルに付属の固定用金具をはめて固定します。



固定用金具はパイ レックスシェルにつ いています。



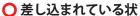


固定用金具

※防爆ネットとガラスの止め方が石膏で止まっているだけなので、防爆ネットの部分を握って回してしまうと、石膏がはがれ、防爆ネットが落下します。 絶対に持たないでください

●-③ 固定用金具がしっかり入ってるか確認







× 浮いている状

◆・④ パイレックスシェルの先端に カウンターリフレクタを取り付ける。



◆ ケーブルのピンの位置を確認してから、ランプヘッドのケーブルと延長ケーブルを接続する。

ぐりぐり回しながらケーブルを差し込むと、ピン折れや点灯不良の原因となります。







- ※ケーブルは必ずしっかり差し込んでロックしてください。
- ※アース部分のピンと、差し込む穴の位置を必ず確認してください。

ライトコードはアース部分のピンが特に長く非常に折れやすいので、灯体とバラストを接続する際は十分ご注意ください 無理に接続すると、接続した側のコードの破損にもつながります。

また、バラストのヒューズが切れてしまいご利用いただけなくなります。



平面図 (イメージ)



1.2kw 球を使用する時は延長コードとバラストの間に専用変換コードを接続してください。







- ※ケーブルは必ずしっかり差し込んでロックしてください。
- ※延長ケーブルとバラストも ◆ と同じようにピンが折れないように接続してください。

♪バラストの電源を接続する。





- ◆ バラストの電源スイッチを ON にして、パワーランプとセーフ ティーランプが点灯している事を確認する。
 - ※セーフティーランプが消えている場合は点灯できません。
 - ※パワーランプが点灯していないと電源がきていません。

組み方、接続の仕方が正しくできていない可能性があります





🎪 調光ダイヤルを MAX にする。



モードダイヤルをフリッカー フリー に切り替える。



◆ LAMP スイッチを ON にし、点灯を確認する。





分解の手順

- ① 点灯スイッチは OFF にして、メインスイッチは ON のままにしておきランプヘッドのファンを回しておく。(ランプ冷却)
- ② ランプやシェルが冷めたのが確認できたら分解を始めます。冷めたかどうかの確認は、直接シェルを触らず先端から出てくる「風」で確認してください。「風」が冷たくなったら分解のサインです。熱いままシェルやランプに触ってしまうと焼け跡がついて使用できなくなり、請求の対象となりますので注意してください。
- ③ メインスイッチを落とす。
- ④ カウンターリフレクタを外す。パイレックスシェルを外す。
- ⑤ ランプを外す。4kwの時はランプを取り外したら、アダ プターを外す。
- ⑥ リフレクタからランプヘッドとスペーサーを外す。
- ⑦ ランプヘッドとスペーサーを切り離す。
- ⑧ 手動用の場合、手動用アダプターをリフレクタから取り外す。
- 9 リフレクタにガイドを取り付ける。
- ⑩ リフレクタを閉じる。(閉じ方参照)
- ① マウント、延長ケーブル、バラストを片づける。

リモコンの操作方法

電源コネクタ(ACアダプタに接続できます。)

-バッテリー残量

focus.

rotation

現在の調節モードの表示

リフレクタのサイズ

無線のアドレス



リモコン用 AC アダプタ



「ADDRESS (無線のアドレスの設定)、RF CTRL(特に使用しません) LEARN (無線を同期させる設定)、SCREEN (リフレクタサイズの設定) の切替え

調節モード切り替えボタン

(□□□ーシボリ・バラシ、♠➡ー上・下の調節モードを切り替える。)

調節ボタン

(□□ - の時はシボリ・バラシ、 ◆ ▼ - の時は上・下の振りを調節する。)

アドレス設定の方法

- 1 モードボタン②を押して『ADDRESS』の画面を出し、③ ④のボタンでアドレスを決める。
- ② モードボタン②を押して『LEARN』に設定し、E-focus 本体側の A ボタンを押して、 そのあとリモコンの④ボタンを押す。
- 3 E-focus 本体の『adresse』の上の赤ランプが点滅し、アドレス設定が完了する。







リフレクタのサイズの設定方法

モードボタン②を押して、SCREENを表示し、リフレクタのサイズをボタン③・ボタン④で選択し、E-focus 本体側のA ボタンを長押しすると、リモコンの画面にOKと表示が出てリフレクタのサイズが設定されます。







リモコンの使い方

調整切り替えボタン①を押し、□□シボリ・バラシ、▲★上・下を切替えて、 調整ボタン③④でシボリバラシ・上下の振りをそれぞれ調節する。



シボリ・バラシ調節のモード



上下の振り調節のモード



◆、 ● のモードは機能がないので 使用出来ません!!

E-focus の AC コードの 使用方法



AC コードは左図のように「くの字」 状態で分解して しまった場合などに E-focus をまっすぐにする為だ けに使用します。

※それ以外では、使用しないで下さい!

- I E-focus のコードと接続する。※ピンの位置に注意して差し込んでください。
- ② AC コードを電源に接続し、E-focus を操作してください
 - ※ AC コードは 100V/200V 対応です。





本体のボタンで動きます

ディフューザーの取り付け方法

1 ランプをシボリ側に寄せておきます。

※注意:ランプがバラシ側(前側)に出ているとディフューザーが焼ける恐れがあります。





2 ディフューザー端のプラスチックの部品にリフレクタの骨を通していきます。



※マジックテープが外向きになる向きで 左図のよう取り付けてください。

リフレクタを回しながら骨を通していきます。









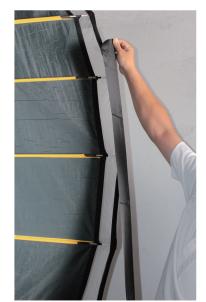


3 リフレクタとディフューザーの隙間に光漏れ切り用の帯を貼ります。

※排熱の為、貼るのは2枚までです。

全て塞ぐと立ち消えや故障の原因になります。











注意

- ネタを 2 枚重ねての使用はできません。
- ビニールやフィルターなどは取り付けないでください。純正以外のものは使用できません。破損につながります。

エッグクレートの 取り付け方法



エッグクレートのセット内容

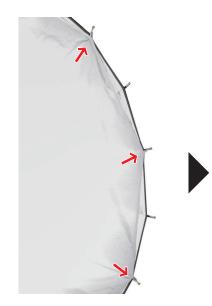


エッグクレート \times 1 ネタ \times 2

 ディフューザーを使用する場合、 リフレクタの骨にエッグクレート専 用ディフューザーを引っ掛けていきます。



※ディフューザーは必ずリフレクタの骨1本おきに引っ掛けてください。 ※純正以外のものは使用できません。破損につながります。







② エッグクレート端の穴をリフレクタの骨を通していきます。 リフレクタを回しながら骨を通していきます。















※**エッグクレートのたたみ方**







リフレクターの閉じ方(77・100・140)

①ガイドをリフレクタに取り付ける。





※フックを矢印の方向に押して、 ガイドを固定します。

[2] セットアップヘルパーをガイドの裏側の銀色の部分 に当てます





③上からセットアップヘルパーで叩くとリフレクタが閉じます。







リフレクターの閉じ方(180・220)

11ガイドをリフレクタに取り付ける。





※フックを矢印の方向に押して、 ガイドを固定します。

② リフレクタの内部に入り、ガイド部分を持ち上げ、上に向かって 強く突き上げて、下に素早く引く。(ガチっとロックが外れるまで)

